



# 日耳鼻医学会 FAX ニュース NO 139

平成20年3月26日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP <http://www.jenti.or.jp>  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

## 新耳鼻咽喉科点数早見表 ホームページで公開

平成20年度の診療報酬点数改定が決着したのを受け、日本耳鼻咽喉科医学会では耳鼻咽喉科点数早見表を作成、3月16日の第6回全理事会で協議の上、早急にホームページ上で公開することにしました。  
印刷した正規の早見表は近日中に会員に発送予定。  
ホームページのアドレスは <http://www.jenti.or.jp>

### 電子化加算も再届け出が必要

4月14日までに社会保険事務局へ、  
明細書発行の院内表示も必要

#### 【解説】夜間・早朝等加算の施設基準(診療所のみ)

- 1週間の表示診療時間の合計が30時間以上の診療所であるが、決まった日や時間に訪問診療を実施し、時間を表示していれば表示診療時間に含める
- この診療所の保険医が概ね月1回以上、深夜のための救急医療の診療を行っている保険医療機関に赴き、夜間・休日の診療に協力している場合は、27時間以上でよい。
- 表示診療時間内でも医師がいつも不在となる時間(訪問診療を除く)は表示診療時間の合計に含めない。
- 診療時間を診療所の構造物の外部でわかりやすい場所に表示する。  
午後6時前に受け付けした患者が午後6時以後に診療を受けてもこの加算は算定できない。午後6時前後に多数の患者が来院する診療所はその旨を患者に周知徹底するとともに院内掲示する(日医Q&Aその1より)

#### 【解説】外来管理加算・老人外来管理加算

電話再診では外来管理加算は算定できない

ア. 略

イ. 外来管理加算を算定するには、医師は丁寧な問診と詳細な身体診察(視診、聴診、打診及び触診等)を行い、それらの結果を踏まえて患者に症状の再確認を行い、症状や療養上の注意点などを懇切丁寧に説明するとともに、患者の療養上の疑問や不安を解消するための取り組みを行う。

[提供される診療内容]

1. 問診: 問診し、患者の訴えを総括する
  2. 身体診察: 身体診察によって得られた所見及びその所見に基づく医学的判断などの説明
  3. 療養上の指導: これまでの治療経過を踏まえた、療養上の注意などの説明・指導。
  4. 患者の潜在的な疑問や不安などをくみ取る取り組み
  5. 1~4は、患者からの聴取事項や診察所見の要点を診療録に記載する。
- ウ. 診察時間は、患者が診察室に入室してから退室するまでの時間で、目安は概ね5分以上。
- エ. 標榜する診療科に関係なく算定し、外来患者が一方の科で処置、手術を行った場合は他科では算定出来ない。基本診療料に含まれる100平方cm未満の皮膚科軟膏処置、点耳、簡単な耳垢除去、鼻洗浄等を実施した場合は処置料でなく薬剤料のみを算定出来るが、これに要した時間は「直接診察を行っている」とみなされ、これらの結果を踏まえて症状や療養上の注意を懇切丁寧に指導説明し、時間要件の概ね5分以上であれば算定出来る。

#### 【解説】耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料 150点

- 注1. 耳鼻咽喉科を標榜する医療機関で、耳鼻咽喉科医師が、外来患者に、計画的な医学管理を継続し、療養上必要な指導を行った場合に、月1回算定する。
- 注2. 初診料A000を算定する初診日か、初診日から1月以内に実施した指導の費用は初診料に含まれ算定できない。
- 注3. 退院患者に退院日から起算して1月以内に指導を行った場合の指導の費用は、入院基本料に含まれ算定できない。
- (1) 耳鼻咽喉科と他の診療科(例:皮膚科)を標榜する医療機関では、耳鼻咽喉科専任の医師がこの指導管理を行った場合に算定する。同一医師(耳鼻咽喉科専任)が他の診療科(皮膚科)を担当する場合には算定できない。  
編注. 耳鼻咽喉科と皮膚科を標榜する一人医師の医療機関では耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料と皮膚科特定疾患指導管理料を同時に算定できないことと思われる。
  - (2) 対象患者は15歳未満の患者で、発症から3か月以上遷延しているか、この管理料を算定する前の1年間に3回以上繰り返し発症している滲出性中耳炎の患者である。
  - (5) 診療計画及び指導内容の要点を診療録に記載する。
  - (6) 電話再診では、算定できない。

### 鳥取FORUM 2008 in 米子 予告

会場 : 米子全日空ホテル

#### プログラム

- 分科会 9月14日(日) 14:00~18:30
- I-1 摂食・嚥下障害のリハ・ケアの最前線
  - I-2 耳鼻科外来で診断する表在癌
  - I-3 耳鼻科医に必要な胃食道逆流症の基礎知識
  - II-1 日常診療における救急疾患のピットホール
  - II-2 耳鼻科診療所におけるデータファイリング
  - II-3 めまいに対する漢方の考え方
  - III-1 小児急性中耳炎の治療戦略
  - III-2 慢性咳嗽~上気道と下気道の接点&治療的診断
  - III-3 アレルギー性鼻炎のオフィスサージャリー
- 全体集会 9月15日(月・祝日) 9:00~12:30
1. これからの耳鼻咽喉科診療を考える
  2. 日常臨床におけるめまい診療
  3. - 公開講座 - 笑う顔には福来る
- 懇親会 9月14日(日) 19:00~21:00  
観光イカサクション 9月14日(日) 10:00~14:00

プロスタグランジンD<sub>2</sub>・トロンボキサンA<sub>2</sub>受容体拮抗剤  
アレルギー性鼻炎治療剤  
**パイナス錠** 50mg  
75mg  
ラマトロバノ製剤  
Baynas® 薬価基準収載  
指定医薬品、処方せん医薬品(※ 医師等の処方せんにより使用する)  
効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、  
製品添付文書をご参照ください。  
※本剤の小児等に対する安全性は確立していません。  
[使用経験が少ない]  
販売(資料請求先:学術部) 日本新薬株式会社 京都市南区吉野西ノ庄門町14  
製造販売元 バイエル薬品株式会社 大阪市淀川区宮原3-5-36  
(2006年7月作成)

(日医Q & Aその1)